

薬だつ知識

⑦

鹿児島での自然災害といえば台風、大雨、洪水、土砂災害、火山噴火、地震、津波などが思い浮かぶのではないだろうか。災害の規模によつては避難所への避難を余儀なくされることもあります。災害派遣医療チーム（DMAT）などと共に薬剤師も活躍しています。

今回は災害時における薬剤師の役割や活動について四つ紹介します。一つ目に「医師・看護師などの医療従事者のサポート」があります。薬剤師はDMATにおいて、医師に医薬品の選択や同種同効薬の助言をすること、医薬品の適正使用に貢献する幅広い活動を行っています。

二つ目は「集積所における医薬品管理」です。医薬品集積所において、医

災害時の薬剤師の仕事



災害を想定した訓練で被災者が服用する薬を確認する薬剤師

療用医薬品と一般用医薬品の仕分けや薬効別分類、品質管理、医薬品の供給などの作業を行います。薬の専門家が管理を行うことで、円滑に被災者に届けることができます。

三つ目は「避難所におけるお薬相談・健康相談」です。DMATとの連携

のもとで薬剤師が症状などを聞き、適切な一般用医薬品を供給します。被災者のセルフメディケーション支援のため、医薬品をはじめ健康や食事に関する相談を受け、アドバイスをします。避難所生活の長期化の影響に伴う栄養バランスの悪化に対し、必要な医薬品を供給します。

四つ目は「避難所の公衆衛生活動」です。保健所、保健師、看護師と連携し薬剤師として公衆衛生管理を行います。仮設トイレやドアの取っ手の消毒を行ったり、うがい薬や手指消毒薬の配置や補充をしたりします。手洗いがいの励行、手指消毒、塩素系漂白剤での靴裏の消毒などの呼びかけもします。

害虫駆除のために、被害の大きい地区の避難所に殺虫剤を配布し、仮設トイレやごみ置き場での殺虫剤の散布方法の説明を行うこともあります。避難所での健康的で快適な環境を保つため、水質・空気・明るさなどの検査も行っています。

（鹿児島県薬剤師会常務理事・岸本真）

※第1水曜に掲載します。

被災者の避難生活を支援

令和5年9月6日（水）

71. 災害時の薬剤師の仕事